

令和5年3月定例会

予算委員会
全体会議録

2月22日（水）

○日 時 令和5年2月22日(水)

○場 所 議会棟2階 議場

○付議事件 議案第1号 令和4年度防府市一般会計補正予算(第7号)

○出席委員(24名)

委員長	久保 潤爾
副委員長	村木 正弘
委員	青木 明夫
委員	石田 卓成
委員	今津 誠一
委員	上田 和夫
委員	牛見 航
委員	宇多村史朗
委員	梅本 洋平
委員	河杉 憲二
委員	河村 孝
委員	清水 力志
委員	曾我 好則
委員	高砂 朋子
委員	田中 健次
委員	橋本龍太郎
委員	藤村こずえ
委員	松村 学
委員	三原 昭治
委員	森重 豊
委員	安村 政治
委員	山田 耕治
委員	吉村 祐太郎
委員	和田 敏明

○欠席委員

なし

○その他の出席者

議長 田中 敏靖

○説明のため出席した者（75名）

総務部長 能野 英人

総務部次長 永松 勉

人事課長 大倉 孝規

人事課主幹 糸井 純平

行政管理課長 磯邊 範子

防災危機管理課長 関屋 拓亮

財政課長 山根 康宏

課税課長 原田 一幸

収納課長 中村 克己

総合政策部長 石丸 泰三

総合政策部政策推進監 亀井 幸一

総合政策部次長 伊藤 忍

政策推進課長 廣中 一秀

デジタル推進課長 小田 至郎

地域交流部長 杉江 純一

地域交流部次長 池田 晋

地域交流部参事 瀬川 博巳（兼文化・スポーツ課長）

地域振興課長 岡田 由紀江

おもてなし観光課長 福谷 英樹

議会事務局長 藤井 一郎

議会事務局次長 石井 朋子

選挙管理委員会事務局長 森田 俊治

消防長	米本 静雄
消防本部次長	植木 克己
消防総務課長	山崎 泰介
通信指令課長	林 義浩
通信指令課主幹	石川 昭夫

生活環境部長	金澤 哲
生活環境部次長	尾中 克則
生活環境部次長	石田 昭二（兼クリーンセンター所長）
生活安全課長	嶺田 直朗
市民課長	須藤 千鶴
保険年金課長	柳 仁志
クリーンセンター所次長	磯邊 陽二

健康福祉部長	藤井 隆
健康福祉部次長	松村 訓規
健康福祉部参事	秋重 郁子（兼健康増進課長）
高齢福祉課長	吉武 圭典
高齢福祉課主幹	阿部 かおり
障害福祉課長	犬塚 要二
子育て支援課長	桑原 明哲
子育て支援課主幹	山崎 貴子
社会福祉課長	栗原 努
社会福祉課主幹	大場 直美
健康増進課主幹	野島 由美子

教育長	江山 稔
教育部長	高橋 光男
教育部次長	石丸 典子
教育総務課長	松田 伸一
学校教育課長	荒瀬 淳子
学校教育課主幹	片山 裕美（兼学校給食管理室長）

生涯学習課長	金子 照
文化財課長	桃井 芳枝
産業振興部長	白井 智浩
産業振興部次長	国澤 明
産業振興部参事	岡田 元子 (兼農林水産振興課長)
産業振興部参事	池田 晶則 (兼農林漁港整備課長)
商工振興課長	本間 良寛
商工振興課主幹	仲嶋 徹
土木都市建設部長	石光 徹
土木都市建設部次長	宮本 松典
土木都市建設部参事	藤本 英明 (兼河川港湾課長)
道路課長	澁谷 勝彦
道路課主幹	大濱 歩
都市計画課長	野間 敬
建築課長	北村 康芳
開発建築指導課長	鴻野 嘉和
開発建築指導課主幹	江島 真治
上下水道事業管理者	河内 政昭
上下水道局次長	野村 利明
総務課長	岡本 修一
財務課長	伊藤 浩二
財務課主幹	徳本 修
水道課長	原田 康晴
下水道課長	松崎 豊

○討論に出席した者 (13名)

教育長	江山 稔
総務部長	能野 英人
総合政策部長	石丸 泰三

地域交流部長	杉江 純一
生活環境部長	金澤 哲
健康福祉部長	藤井 隆
産業振興部長	白井 智浩
土木都市建設部長	石光 徹
会計管理者	寺畑 俊孝
教育部長	高橋 光男
議会事務局長	藤井 一郎
消防長	米本 静雄
上下水道事業管理者	河内 政昭

○出席書記 秋里 あゆみ

午前10時 開会

○久保委員長 おはようございます。ただいまから予算委員会を開催いたします。

本日執行部については、齊藤総務部危機管理監、篠原健康増進課主幹から欠席の届出がございましたので、御報告申し上げます。

議案第1号 令和4年度防府市一般会計補正予算（第7号）

○久保委員長 昨日の本会議におきまして、当委員会に付託となりました議案第1号令和4年度防府市一般会計補正予算（第7号）について、お手元に配付しております審査日程並びに審査要領に基づき審査を行いますので、よろしく願いいたします。

なお、本案につきましては、去る2月16日の議会運営委員会において、分科会での審査を省略することを全会一致で決定しております。したがって、本日は採決まで行うこととなりますので、よろしく願いいたします。

それでは、これより総務委員会、教育民生委員会、産業建設委員会の各所管順に執行部の補足説明を求めます。

まず、総務委員会所管のうち総務部、総合政策部及び議会の事項について、執行部の補足説明を求めます。

なお、発言は挙手の上、委員長の許可を得た後にお願いいたします。

○石井議会事務局次長 議会事務局でございます。

議案第1号令和4年度防府市一般会計補正予算（第7号）について、補正予算書にて御

説明いたします。

補正予算書の32ページ、33ページをお願いいたします。

上段、1目議会費のうち、議会運営費でございますが、いずれも決算見込みにより260万7,000円を減額するものでございます。

議会事務局は以上です。御審議のほどよろしくをお願いいたします。

○永松総務部次長 おはようございます。総務部でございます。

議案第1号令和4年度防府市一般会計補正予算（第7号）のうち、総務部所管分について御説明申し上げます。

それでは、歳入歳出の各費目について、決算見込みなどによる少額の補正を除く主なものについて御説明申し上げます。

最初に、補正予算書の12ページ、13ページをお願いいたします。

1款市税につきましては、現年課税分、滞納繰越分ともに実績に基づく収納見込みにより、それぞれ補正をしております。主なものといたしましては、上から2番目、1款市税の1目市たばこ税につきましては、当初見込みよりたばこの販売本数の増加が見込まれることから5,309万1,000円の増額を行うものでございます。

次に、その下、6款1目法人事業税交付金及びその下、7款1目地方消費税交付金につきましては、実績に基づき増額が見込まれることから、それぞれ3,000万円及び7,000万円の増額を行うものです。

その下、10款1目国有提供施設等所在市町村助成交付金につきましては、交付額の確定通知に基づき1,586万4,000円の増額を行うものです。

次に、14ページ、15ページをお願いいたします。

2段目の1目地方交付税の普通交付税につきましては、国の交付決定により10億4,273万3,000円を増額するものでございます。

次に、16ページ、17ページをお願いいたします。

1目総務費補助金の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金につきましては、国の追加配分により4,599万1,000円を増額するものでございます。

次に、24ページ、25ページをお願いいたします。

上段の1目不動産売払収入の市有地売払収入につきましては、駅北公有地や旧市有三世代住宅用地などの普通財産の売払い収入や法定外公共物の売払い収入がありましたので3億8,043万7,000円を増額するものでございます。

次に、26ページ、27ページをお願いいたします。

上段の1目繰越金の前年度繰越金につきましては、令和3年度の決算に基づき8億2,

263万3,000円を計上いたしております。

次に、3段目の1目競輪事業収入につきましては、競輪事業特別会計からの繰入金として3億円を計上いたしております。

次に、30ページ、31ページをお願いいたします。

下から2番目、11目臨時財政対策債につきましては、発行可能額の確定によりまして8億1,023万4,000円の減額を計上するものでございます。

歳入は以上でございます。

続きまして歳出の各費目について、決算見込みなどによる少額の補正を除く主なものについて御説明いたします。

34,35ページをお願いいたします。

中段の2目人事管理費の職員給与費につきましては、依願退職がありましたので退職手当の増額を計上いたしております。

下から2段目、8目財政調整基金費の財政調整基金積立金につきましては、令和3年度決算に基づく繰越金の2分の1相当額及び不動産売却収入等を合わせまして13億1,059万2,000円を増額するものでございます。

その下、9目減債基金費の減債基金積立金につきましては、今後の市債償還に必要な財源を確保していくための積立金として、2億2万2,000円を増額するものでございます。

次は飛びまして、98ページ、99ページをお願いいたします。

下段の14款1目予備費でございますが、今回の補正を収支し、補正後の予備費を2億7,059万2,000円といたしております。

最後に、前に戻っていただき7ページをお願いいたします。

第3表繰越明許費補正についてでございます。

上から3番目、議会棟整備事業7,770万円につきましては、関係事業者との調整に時間を要したことなどに伴い追加するものでございます。

総務部は以上でございます。よろしく御審議のほどお願いいたします。

○伊藤総合政策部次長 それでは、引き続き総合政策部の所管する事項のうち、主なものについて御説明をいたします。

まず、予算書の36ページ、37ページをお願いいたします。

10目企画費の政策推進課管理経費5億1,011万9,000円は、基金への積立金でございます。

まず、競輪事業収入など令和4年度の中期財政見通しを上回る収支改善分及び預金等の

利子などを、ふるさと振興基金に2億8,000円、成長再生推進基金に1億1万1,000円をそれぞれ積み立てるものでございます。

また、新たに設ける基金につきましては、公共施設等整備基金に収支改善分2億円を、地方創生推進基金に信金中央金庫からの企業版ふるさと納税寄附金など1,010万円をそれぞれ積み立てるものでございます。

その下の項目、UJIターン促進事業の移住支援費補助金及びその下、学校連携推進事業の共同研究負担金、この2つにつきましては決算見込みにより減額するものでございます。

次の項目、15目電子計算費のネットワーク管理事業につきましては、庁内ネットワーク整備の設計支援業務に係る費用、こちらを決算見込みにより減額するものでございます。

歳出は以上となります。続きまして歳入の御説明をいたします。

予算書に戻りまして16ページ、17ページをお願いいたします。

表の1目総務費補助金のデジタル田園都市国家構想推進交付金、こちらにつきましては、新たに交付決定を受けましたコンビニ交付サービス利用促進事業に係る交付金を計上いたしております。

次に、20ページ、21ページをお願いいたします。

こちらちょうどページの切れ目が悪くて、項目が前のページにちょっと分かれてしまっておりますが、1目総務費補助金のうち移住支援対策事業費補助金、こちらにつきましては決算見込みによる減額を計上いたしております。

次に、24ページ、25ページをお願いいたします。

中段の表、寄附金の3目まち・ひと・しごと創生寄附金、こちらにつきましては、信金中央金庫からの企業版ふるさと納税による寄附1,000万円を計上いたしております。

最後に、28ページ、29ページをお願いいたします。

下段の市債の表の1目総務債、2節庁舎建設事業債につきましては、先ほど歳出で御説明いたしました庁内ネットワーク整備の設計支援業務に係る費用の減額に伴いまして補正をするものでございます。

以上、総合政策部の所管する事項について御説明をいたしました。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○久保委員長 ただいまの補足説明に対する質疑を求めます。

○松村委員 14ページですが、地方交付税で10億円補正になっていますが、かなり大きい金額だし、トータルで地方交付税が58億円あるというのは、ちょっと私もなかなかお目見えしたことがなかったような気がするんですけど、これの主な要因というのはどう

いったものになるのでしょうか。

○山根財政課長 お答えいたします。

国では地方交付税と臨時財政対策債を合わせて実質的な交付税と取り扱っておりますので、今回、臨時財政対策債のほうが発行可能限度額、約8億1,000万円ぐらい減額になっておりますので、その分が一番大きな要因となっております。

以上です。

○松村委員 それと26ページに……。

○久保委員長 松村委員ちょっとマイクを近づけていただけますか。

○松村委員 ちょっと財政調整基金が今13億円で減債が2億円で、基金についても4つの今基金に積立上がっていきまして、競輪のほうからまた3億円ほど一般会計に繰り入れてありますよね。剰余金がどれぐらい上がっていて、お金の流れ、結局余った、競輪からも繰り入れておるし、基金も今回組み合わせたわけですよね。そのお金の流れでどういう形でお金が入っているのかというのを、ちょっと知りたいんですけど御説明できますか。

○山根財政課長 全体的なお話になってしまいますが、競輪に関しましては売上金収入の増加と今年度の収支を見越して、その剰余金の部分をこちらのほうに繰り出していただいておりますので、その部分と、あと今年度の収支改善の部分、そういったところから各基金への積立を行っております。

以上です。

○松村委員 結局、今4つ言われた基金にも充当しているし、減債とか財政調整基金とかに、今の競輪の3億円も含めて入っているという考え方でいいんですね。

○山根財政課長 基本的にはそうなります。

○松村委員 分かりました。ありがとうございました。

以上です。

○久保委員長 ほかにございませんか。

○清水委員 予算書の34ページ、35ページ。2目人事管理費のところの説明で、退職手当とありますが、依願退職があったというふうに御説明いただきましたが、大体、何名ぐらいで、どういった方が依願退職されたのか、もうちょっと詳しく教えていただけないでしょうか。

○大倉人事課長 お答えいたします。

まず、副市長の退職手当が増額されております。それから依願退職につきましては16名ほど予定されておりますけれども、中身といたしましては依願なので個人的な理由になります。

以上でございます。

○久保委員長 よろしいですか。

○石田委員 今回の関連で、正規職員、非正規職員それぞれ内訳は、それぐらいはいいでしょう教えてください。

○大倉人事課長 今計上しておりますのは全て正職員でございます。

○石田委員 その中で心の病とか、そういった方とかもいらっしゃるのかなと想像しているんですけど、具体的には難しいと思うので、年代別10歳ぐらい区切って、どのぐらいの年代の人がされているのかというのを教えてもらえたらと思います。

○大倉人事課長 20代が2名、それから30代が3名、40代が2名で残りは50代になります。

○久保委員長 よろしいですか。ほかにございませんか。

○田中（健）委員 先ほどの松村委員の質問とちょっとダブるんですけども、確認の意味でもう一度お聞きするんですが、先ほど36ページ、37ページを説明されるときに、そこに政策推進課管理経費ということで、ふるさと振興基金積立金と成長再生推進基金積立金は、これは競輪の3億円がここに入ったと。

それから公共施設等整備基金積立金は全体的な会計の中の余剰金ということで2億円積立てたと。

それから地方創生推進基金積立金は、これは信金中央金庫ですか、それからの1,000万円を積立てたと。考え方とすればこういう形で整理をされたということで、まずよかったですか。

○廣中政策推進課長 私どもの課の所管の今のふるさと振興基金、成長再生基金、公共施設等整備基金につきましては、先ほど部次長の説明でもございましたように、収支改善分で、実際の中は色はついておりませんので、競輪事業の事業費も含めたという形で私どもも伺っております。

地方創生推進基金につきましては、もう直接、信用中央金庫様からの寄附金ということですので、そういう形での財源となっております。

以上です。

○田中（健）委員 そのとおりですね。色がついておりませんから分かりませんが、競輪の3億円と、それから収支改善分の2億円がここに合わせて5億円入っていると。

それと、その前のページになりますが、34ページ、35ページのところで減債調整基金と、それから財政調整基金積立金で、財調に13億円積立てて減債基金の積立金を2億円積み立てるということですが、これまでの補正予算の中でいくと財政調整基金に13億

円を積立てたというようなことはあまりなくて、これまではむしろ財政調整基金からの繰入金額を減らすという形で割と補正予算では調整しとったんじゃないかと思うんですが、これからは、こういう形でむしろ補正予算書を作っていくということになるわけですか。

○山根財政課長 お答えします。

今回に関しましては、一番大きなものとしましては駅北公有地の売却費の4億円以上のものがありますので、そのものをこちらに積立てております。あとは前年度繰越金の部分の半分相当のものを積み立てるような形でこういう形になっております。

以上です。

○田中（健）委員 駅北公有地売却の4億円というのは、補正予算書でいくとどこに表れるんですか。

○山根財政課長 24ページの上段のところになります。

○久保委員長 よろしいですか。

○田中（健）委員 分かりました。

○久保委員長 ほかにございませんか。

○三原委員 今の駅北に関連して財産売払いで、駅北、三代、法定外公共物とたしか言われたと思うんですけど、少し具体的に教えてください。

○磯邊行政管理課長 お答えいたします。

まず、大きなものとしましては、駅北公有地の4億3,470万円と旧市有三世代住宅用地の1,572万円、あとは普通財産を小さいものなどを売り払ったものと法定外公共物を5件程度売り払っております。

○三原委員 法定外公共物の5件程度の中身を教えてください。

○磯邊行政管理課長 大きなものとしましては90平米ぐらいの赤線や青線を隣接地の方に売り払っております。

○三原委員 はい、分かりました。それと先ほど出ました依願退職16人と、私的に思うと16人は多いなという感覚なんですけど、過去5年間ぐらいの状況を教えてください。

○大倉人事課長 平成29年度からですが、29年が9人、30年が12人、令和元年が8人、令和2年が7人、令和3年が14人になります。

○三原委員 これは個人情報なので、中身は先ほど言われた年齢ぐらいだと思うんですが、ちょっとさっき出ました病気、その他ぐらいで分類するとどうなんですか。

○大倉人事課長 毎年、数名程度、病気の方もいらっしゃるような形で、よろしいでしょうか。

○久保委員長 よろしいですか。

○三原委員 はい。

○久保委員長 ほかにございませんか。

○田中（健）委員 予算書の多分終わりのほうに総括的に整理してあるのかと思うんですが、残業手当、全般的に人件費の関係である程度いろんな手当だとかがここで調整されていると思うんですが、例えば、私のところに匿名で防府市は残業手当の支払いが十分ではないというような投書が来たりしております。それでそういった実態があるのかどうか、そういった訴えが職員から担当の部署だとか、そういうものに来ているのか、そういったことについてちょっとお伺いしたいんですけど。

○大倉人事課長 時間外手当につきましては、申請に応じて支給しているような形になっております。

以上でございます。

○田中（健）委員 申請すればそれは直ちに認められるということですか。

○大倉人事課長 一応、年度内の予算配分というのがございますので、そこで計画的に時間外勤務をしていただいているような状況です。

○田中（健）委員 ということになると、予算配分を超える残業があった場合には、それは認められないということになるわけですか。

○大倉人事課長 そのあたりは課内とか、応援とかで調整していただいて予算を超えないように執行していただいております。

○田中（健）委員 予算を超えないように執行しているというような言い方の中で、不払いの残業というのが発生しているんじゃないかという気がするわけですが、これ、ちょっとここで問答をしてもしょうがないかもしれませんが、そういった声が職員から議員のところ匿名という形ですが届いて、それも私だけじゃないみたいです。全議員に来ているかどうか私も調べておりませんが、そういった訴えが職員から出るということ自体が、庁内のそういった残業の手当の配分というのが不十分だということの現れだと思うので、今後、新年度予算はどうなっているのか分かりませんが、ぜひ、その辺の対応をしっかりとっていただきたいということを要望しておきます。要望で答弁は……。

○久保委員長 要望でよろしいですか。

○田中（健）委員 はい。格別、何かあれば別ですが。

○久保委員長 何かありますか。よろしいですか。ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○久保委員長 ないようですので、以上で質疑を終結いたします。

総務部、総合政策部、議会の皆様、お疲れさまでした。

ここで執行部入れ替えのため、暫時休憩いたします。

午前 10 時 28 分 休憩

午前 10 時 30 分 開議

○久保委員長 休憩を閉じて、会議を再開いたします。

続きまして、総務委員会所管のうち、地域交流部、選挙管理委員会及び消防本部の事項について、執行部の補足説明を求めます。

○池田地域交流部次長 続きまして、地域交流部の所管する事項の主なものについて御説明をいたします。

補正予算書の 36 ページ、37 ページをお願いいたします。

まず、このたびお願いしている補正予算につきましては、そのほとんどが新型コロナウイルス感染症の影響による行事が中止されたこと並びに決算見込みによる予算の減額でございます。

では 3 段目、16 目地域振興費、18 節負担金補助及び交付金の生活バス路線対策費補助金につきましては、路線バス運行事業者の路線ごとの損益が確定したことから減額するものでございます。また、離島航路補助金につきましては、有限会社野島海運への国費及び県補助金の確定に伴い、市の補填額が確定したことにより減額するものでございます。

次に、補正予算書の 38 ページ、39 ページをお願いいたします。

3 段目、20 目スポーツ振興費、18 節負担金補助及び交付金の防府読売マラソン大会運営費補助金につきましては、大会への申込み人数が当初の想定より少なく、想定していた参加料収入が得られなかったことなどから、大会運営費に不足を生じたため、補助金の増額をお願いするものでございます。

最後に、繰越明許費の補正でございます。補正予算書の 114 ページ、115 ページをお願いいたします。

3 段目、観光施設整備事業ですが、こちらは市外からの観光客などに対応するため、山頭火ふるさと館北側にある観光駐車場に、電気自動車充電設備を設置することとしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響などによる世界的な半導体不足により、年度内の設置が困難となったためでございます。

以上で、地域交流部の所管する事項についての説明を終わります。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○森田選挙管理委員会事務局長 選挙管理委員会でございます。

補正予算書 4 2 ページからの、3 目参議院議員選挙費及び 4 4 ページからの、5 目市長選挙費につきましては、いずれも決算見込みに伴う減額補正を行おうとするものです。

以上でございます。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○植木消防本部次長 続きまして、消防本部所管分につきまして、歳出の主なものから御説明いたします。

補正予算書の 8 6、8 7 ページをお願いいたします。

中段、1 目常備消防費、通信指令施設整備事業でございますが、令和 7 年度中に消防通信指令業務の共同運用開始による、通信指令関係機器の更新を予定しておりますことから、現行機器の整備内容を見直し、1, 4 0 3 万 1, 0 0 0 円を減額するものでございます。

続きまして、同じページ下側にありますが、2 目非常備消防費、消防団運営事業でございますが、コミュニティ助成事業が不採択となりましたことにより 1 0 2 万 6, 0 0 0 円を減額するものでございます。

歳出につきましては以上でございます。

続きまして、歳入について御説明をいたします。補正予算書の 2 6、2 7 ページをお願いいたします。

2 段目の 3 目消防費受託事業収入でございますが、救急業務受託事業収入が 7 1 万 7, 0 0 0 円の減額となっております。この救急業務受託事業収入とは、高速道路への救急出動に対し、西日本高速道路株式会社から支弁金が支払われるものでございます。今年度は、この支弁金算定に用いる基礎数値が変更されたことによる減額でございます。

続きまして次のページ、2 8、2 9 ページをお願いいたします。

上段の 3 目雑入、消防総務課雑入でございますが、歳出でも御説明いたしました消防団運営事業のコミュニティ助成事業が不採択となりましたことに伴い、9 9 万 9, 0 0 0 円の減額となっております。

続きまして 3 0、3 1 ページをお願いいたします。

中ほどの 7 目消防債、消防施設整備事業債でございますが、歳出でも御説明いたしました通信指令施設整備事業の減額による起債額の変更や、消防水利事業の起債額が変更されたことにより 2, 3 6 0 万円の減額となっております。

続きまして、繰越明許費の追加でございます。補正予算書の 1 1 6、1 1 7 ページをお願いいたします。

下側の 9 款消防費、小野公民館等建替事業でございますが、旧小野公民館と同敷地にあります旧小野分団器庫を解体するものでございます。事業関係者との調整に不測の日数を要しましたことから 5 3 0 万 1, 0 0 0 円の繰越明許費をお願いいたしております。

続きまして、一つ下の消防署東出張所建替事業でございますが、今年度は敷地の造成を行っており、関係機関との調整に日数を要しましたことから340万円の繰越明許費をお願いしております。

消防本部所管分は以上でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○久保委員長 ただいまの補足説明に対する質疑を求めます。

○石田委員 まず最初に、38ページの読売マラソンの件で、申込みが少なかったということなんですけど、地元枠、これかなり拡大して下さっていると思うんですけど、そっちが少なかったのか、それともよそからの少なかったかを教えてください。

○瀬川地域交流部参事 お答えいたします。

市内とか市外問わずです。全体的にちょっと想定より少なかったというふうに認識しております。

○石田委員 分かりました。これ要望ですけど、まだコロナ心配して少なかった可能性もあるのかなと、枠は少なくともぜひそのまま残しておいてほしいなど、地元を特にですね、思いますのでよろしくお願いいたします。

あと消防なんですけど、今説明の中にはなかったんですけど、出初式に行ってちょっと感じたんですけど、救急の件数が全国的に過去最高というところがかなり多くて、記事になったりもしていたんですけども、要因を教えてくださいと思います。何かつかんでおられないですか、こういった傾向があるとか。

○米本消防長 御質問にお答えいたします。

令和4年につきましてはコロナの関係もございしますが、熱中症関係、こちら関係も今までに比べて多くなっております。その辺も加えまして、あとはコロナの病院間の転院搬送とか、その辺あたりで、あと多くなっているのは急病関係もかなり多くなっております。全体的に、全国的にそういう傾向が見られております。

以上でございます。

○石田委員 分かりました。ありがとうございます。どういった傾向があるのかなと思って、全国的に増えているみたいなんで気にはなっていたので、本当今の台数で足りるか、人員で足りるかというところもあると思いますけど、しっかりと現場のことは現場じゃないと分からないと思いますので、人員増とか救急車の増台とかも含めてしっかりと訴えていただければと思いますので、よろしく申し上げます。

○久保委員長 ほかにございせんか。

○三原委員 消防団のコミュニティ助成事業の不採択ということなんですけど、まず中身を教えてください。不採択となった理由が分かれば。

○山崎消防総務課長 御質問にお答えいたします。

コミュニティ助成事業というのは、一般財団法人自治総合センターによる宝くじ等の広報事業等の団体からの助成金でありまして、この助成金についてはメニューの中に地域防災組織育成事業というのがあります。その中で消防団育成事業費ということで助成されます。その上限額が100万円と決まっております。この不採択になった理由というのは、こちらのほうで分かりません。

以上でございます。

○三原委員 この助成金は被服ですか、何に充てるといふ、目的は何ですか。

○山崎消防総務課長 御質問にお答えします。

メニューについては、設備等で建築物、消耗品は除くことになっております。消防団員の装備の拡充を図るといふことなので、そういうふうなメニューになって防火服とか防火帽とか長靴とかそういったものになっております。

以上でございます。

○三原委員 防火服とか大変必需品だと思うんですけど、必要だからこれ申請されたと思うんですが、不採択になってその対応というのは考えていらっしゃいますか。

○山崎消防総務課長 御質問にお答えいたします。

ほかにも助成制度がありまして、消防団員の公務災害防止の実施、公務災害補償等共済基金というところからの助成もあります。これについても安全装備品という中に防火服等もありますので、そちらのほうも申請いたしまして、今年度につきましてはその申請分は一応採択されておりますので、そちらのほうでも対応しております。

以上でございます。

○久保委員長 ほかにございせんか。

○高砂委員 先ほど石田委員のほうからも御質問がありました、ページは39ページのスポーツ振興費のことで、読売マラソンのことなんですが、当初の想定参加者をどのくらいにされていたのか、実参加がどのくらいであったのかということをお願いいたします。

○瀬川地域交流部参事 お答えいたします。

当初の想定ですと定員を3,500人というふうに見込んでおりました。実際の申込み人数が2,502人というふうになっております。約1,000人程度の減となっております。

○高砂委員 コロナ禍ということも大きな要因であったかとは思いますが、市内の方の応援の様子であったりとか、雰囲気を見ても大変盛会であったのではないかと感じております。今後の大会、特にまた今年の大会に向けて様々なお取組みをよろしく願います。

たします。皆さんが安心して参加できる読売マラソンに、また今後につながる読売マラソンにしていただければと思っております。要望しておきます。

以上です。

○久保委員長 ほかにございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○久保委員長 ないようですので、以上で質疑を終結いたします。

地域交流部、選挙管理委員会、消防本部の皆様、お疲れさまでした。

ここで執行部入れ替えのため、暫時休憩いたします。

午前10時44分 休憩

午前10時46分 開議

○久保委員長 休憩を閉じて会議を再開いたします。

続きまして、教育民生委員会所管のうち、生活環境部及び健康福祉部の事項について、執行部の補足説明を求めます。

○尾中生活環境部次長 はい、生活環境部でございます。私からは、生活環境部所管分につきまして、歳出の主なものから御説明を申し上げます。

補正予算書の40ページ、41ページをお願いいたします。

下段の1目戸籍住民基本台帳費の住民基本台帳管理業務の電算業務委託料につきましては、地方公共団体情報システム機構、いわゆるJ-LISに支払います、コンビニ交付手数料に係ります事務委託手数料を159万2,000円増額補正をいたしております。要因といたしましては、昨年10月から4号館1階に証明書交付用に供します自動交付機を1台設置し、併せまして令和4年9月議会で可決をいただきました手数料条例の改正で、コンビニ交付に係ります手数料を見直したこと等によりまして、コンビニ交付サービスの利用件数が増加したことによるものでございます。

続きまして、48ページ、49ページをお願いいたします。

上段の1目社会福祉総務費でございます。国民健康保険事業特別会計繰出金につきまして、国民健康保険事業特別会計の決算見込みに伴いまして2,444万9,000円を増額補正をしております。

続きまして、50ページ、51ページをお願いいたします。

4目高齢者福祉費の後期高齢者医療事業特別会計繰出金の4,118万5,000円の減額につきまして、こちらは山口県後期高齢者医療広域連合の決算見込みに伴いまして、減額をするものでございます。その下の後期高齢者医療負担金の20万2,000円の減

額につきましては、こちらも広域連合へ納付をする事務費負担金の精算に伴うものでございます。

続きまして、60ページ、61ページをお願いいたします。

下段の1目保健衛生総務費でございます。と場事業特別会計繰出金の47万2,000円の増額につきましては、令和4年度の屠畜頭数が見込みより減少したことに伴いまして、と場の使用料収入が減額となりますことから、と場事業特別会計への繰出金を補正するものでございます。

続きまして、64ページ、65ページをお願いいたします。

4目環境衛生費、大光寺原霊園管理事業への墓園使用料返還金の65万円の減額につきましては、決算見込みによるものでございます。

同じページの下段の2目塵芥処理費でございます。ごみ収集運搬業務につきましては、塵芥車及び軽ダンプ車に係ります入札差金265万1,000円を減額するものでございます。

次に、そのすぐ下のごみ減量化推進事業でございますが、ページは66ページ、67ページになりますが、資源ごみ集積場所のコンテナ保管委託料を11万1,000円、また自主搬入自治会に対する清掃補助金56万6,000円を、いずれも決算見込みにより減額をするものでございます。

最後に、同じページの3目し尿処理業務につきましては、設備機器保守委託、それから検査委託及び改良改修工事につきましては、いずれも入札差金により減額をするものでございます。

生活環境部所管分については、以上でございます。

○松村健康福祉部次長 それでは引き続き、健康福祉部の所管事項について御説明いたします。

今回の補正は、決算見込みによる補正と過年度事業の精算に伴う国、県補助金の返還等が主でございますので、その他、特に説明が必要な事項について御説明いたします。

初めに、補正予算書の49ページをお願いいたします。

49ページの説明欄上から3項目め、民生委員児童委員関係事業の10万円につきましては、昨年12月に実施された民生委員、児童委員の一斉改正に際し、防府市の民生委員、児童委員定数が249名から252名へ、3名増加したことに伴い増額をお願いするものでございます。

次に、51ページをお願いいたします。

51ページの上から4項目め、老人福祉施設整備補助事業につきましては、認知症対応

型共同生活介護、看護小規模多機能型居宅介護、それぞれ1施設の整備を公募し、整備及び開設準備費用の一部を補助する予定でしたが、応募がなかったことから介護施設等整備補助金及び介護施設開設準備経費補助金の全額を減額するものでございます。

また、地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金につきましては、法人等の施設整備に対して補助する予定でしたが、国の補助金交付事業に採択されなかったため、全額を減額するものでございます。

次に、55ページをお願いします。

ここからは、国の補正予算により実施する事業が多数ございますので、順番に申し上げてまいります。

55ページの表の下段、ファミリーサポートセンター運営事業の消耗品費30万円、その下、子育て短期支援事業の新型コロナウイルス感染症対策事業補助金120万円、一つ飛ばしまして、病児保育事業の新型コロナウイルス感染症対策事業補助金30万円、さらに一つ飛ばしまして、養育支援訪問事業の消耗品費30万円、その下の、子どものための教育・保育給付事業の新型コロナウイルス感染症対策事業補助金1,020万円、その下、地域子育て支援事業の消耗品費30万円、さらにページをめくっていただきまして、57ページの2行目の新型コロナウイルス感染症対策事業補助金1,485万円。これらにつきましては、国の補正予算により実施する新型コロナウイルス感染防止に係る経費でございます。

次に、55ページにお戻りいただきまして、55ページの一番下から6行目、こどもの安全・安心対策支援事業補助金2,120万円につきましては、国の補正予算、こどもの安全・安心対策支援パッケージにより実施する、送迎バスへの安全装置の設置や登園管理システムの導入等に対する支援でございます。

次に、57ページをお願いします。

57ページの表の一番下の段、市立保育所管理・運営業務及び、次のページめくっていただきまして、59ページの市立認定こども園管理・運営業務につきましては、国の補正予算により実施する新型コロナウイルス感染防止対策及び安全・安心のための登園管理システム等に係る経費を計上いたしております。

また、その下の留守家庭児童学級運営事業の消耗品費1,200万円及び留守家庭児童クラブ事業の消耗品費160万円につきましても、国の補正予算により実施する新型コロナウイルス感染防止対策に係る経費でございます。

次に、63ページをお願いします。

63ページの中段の1項目め、母子保健地域組織育成支援事業の消耗品費30万円及び

下から2項目めの子育て世代包括支援センター運営事業の消耗品費30万円、これにつきましても国の補正予算により実施する新型コロナ対策に係る経費でございます。

次に、65ページをお願いします。

65ページ上の表の中段、一次救急医療対策事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、休日診療所の受診者が増加したことに伴い、医師、薬剤師、看護師等の人員増や、時間外診療の対応に係る謝礼金374万3,000円及び治療薬等に係る医薬材料費500万円の増額をお願いするものでございます。

歳出については以上でございます。

なお、歳入におきましては、歳出の補正に伴う国、県補助金等の補正を行っております。最後に、繰越明許費でございます。110ページ、111ページをお願いします。

110ページ、111ページの3款民生費、1項社会福祉費、4目高齢者福祉費の小野公民館等建替事業につきましては、小野公民館等の建て替えに伴う旧小野老人憩の家の解体工事に当たり、関係者との調整に不測の日数を要したため、事業の完了が年度を超える予定となりましたことから、関係する経費の繰越しをお願いするものでございます。

次に、同じページの3款民生費、2項児童福祉費、2目子ども・子育て支援費、同じく5目の児童福祉施設費、さらにページをめくっていただきまして、112ページ、113ページの一番上、4款衛生費、1項保健衛生費、2目母子保健対策費におきましては、歳出で御説明いたしました国の補正予算により実施する、こどもの安心・安全対策事業並びに新型コロナウイルス感染防止対策事業について、今回計上させていただいた予算全額を繰越しさせていただくものでございます。

健康福祉部は以上でございます。御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○久保委員長 ただいまの補足説明に対する質疑を求めます。

○和田委員 補正予算書の55ページで、概要は3ページ見たほうが分かりやすいかな。こどもの安全・安心対策支援事業ですが、送迎バスの安全装置の導入と見守りタグの導入ということなんですが、聞き漏らしていたらすみません。これちょっとどういったものか説明いただけますか。

○桑原子育て支援課長 はい、お答えいたします。

まず、送迎バスへの安全装置の導入ということで、それがあります。これにつきましては、対象が保育所、それから幼保連携型認定こども園、それから地域型保育事業所でございます。ですので、こちらの保育所等につきましては送迎バスを持っていらっしゃるもので、こちらのほうの補助については市のほうでは実質ございません。幼稚園等につきましては、県のほうで対応されるということになっております。

それから、登園管理システムの導入支援ということで、こちらのほうは園児がちゃんと登校したとかいうことを、ICTのほうで管理して、園内でもちゃんとその辺を共有していくというものでございます。

それと、子どもの見守りタグというもので、主にGPSをつけることで、園外活動したときに子どもが遠くに行っていないかとか、そういうものをしっかり見守っていくというものでございます。

以上でございます。

○久保委員長 よろしいですか。ほかにございませんか。

○石田委員 まず、41ページの一番下段の住民基本台帳管理業務なんですけど、先日、住民票とかマイナンバーで、住民票とか印鑑証明を取りに行ったら、退職されて再雇用された職員さんだと思うんですけど、50円安くなるよということで、すごい親切に教えていただいて、こういう調子だったらコンビニで使ってやってくれる人とかも増えるんじゃないかなと思ったので、すごいノリノリで教えてくださってありがたかったです。感謝申し上げます。感想で申し訳ない。

あと、コロナワクチンの件に対して健康福祉部、接種業務全般なんですけど、昨日ちょっとお話させてもらったと思うんですけど、ワクチンの接種の保存年数が5年になってると思うんです、記録は。今、副作用とか死亡例とかかなり増えてきて、メディアでもかなり取り上げられることになって、これメッセンジャーRNA自体が人類初の試みでもあるので、今後どのような影響が本当に出てくるか分からない、過去にも薬害とかそういったこともあったので、5年とは言わず、ちゃんと延ばして保存しておかないと、あとあとやっぱり何か起こったときにちょっと対応も難しくなると思いますので、その辺をしっかりと内部で協議していただきたいと思いますので、よろしくお願いします。要望です。

○久保委員長 よろしいですか。ほかにございませんか。

○高砂委員 1点のみ質問させていただきます。

ページは63ページの母子保健対策費です。妊婦健診の診査事業1, 200万円減になっているんですけども、妊婦の方の健診というのは大変重要で推進をしてくださっているわけですが、この要因等がもし分かりましたらお願いいたします。

○秋重健康福祉部参事 すみません。妊娠届出数というのが、やはり年々ちょっと減っているという現状がありますので、それに関係するものというふうに解釈しております。

○高砂委員 はい、よく分かりました。やはり届出数が少なくなれば、こういった数字もかなり大きくなるなということを感じております。ありがとうございます。

以上です。

○久保委員長 ほかにございませんか。

○田中（健）委員 すみません。補正予算の案でいけば3ページ、それから予算書でいくと54ページ、55ページになりますが、概要の3ページ、先ほど和田委員が質問されたこどもの安全・安心対策支援事業2,600万円という形で書いてあります。ところが54ページ、55ページのこどもの安全・安心対策支援事業補助金のところは2,120万円ということで、500万円ぐらい金額が違うんですが、これは3ページのほうには小学校送迎用のバスというふうにも書いてあるので、多分これ教育委員会のほうでも上げておって、それで500万円の差が概要と予算書と違うんだと思うんですが、福祉部サイドとすればこの2,120万円だけということですか。それでいいわけですか。

○桑原子育て支援課長 お答えいたします。

予算書55ページのほうに載っている部分は民間の部分でございまして、そのほかに公立のほうも、公立3園についても予算のほうを計上しております。

○田中（健）委員 それは予算書のどこに出ているんでしょうか。

○桑原子育て支援課長 お答えいたします。

59ページでございます。59ページの上から2行目、3行目の部分です。電算事務委託料、こちらが登園管理システムであるとか見守りタグの部分です。そしてその下のシステム使用料ということで月々の使用料部分、こちらのほうを計上させていただいています。同じく市立認定こども園のほうについても、同じように計上させていただいております。

○久保委員長 よろしいですか。

○田中（健）委員 今、お示しいただいたものを足すと、上の2行目、3行目で286万円です。それに2,120万円足しても500万円には至らないんですが。全部足しても2,600万円にならないんですが、小学校のほうが何かあるんですか、教育委員会で。

○桑原子育て支援課長 そうです、教育の部分もこれに含まれているということでございます。

○田中（健）委員 はい、分かりました。ちょっと電算事務委託料、システム使用料というところでこういったものがあるということであれば、併せて最初から説明いただければよかったですと思います。

それから、その上の保育施設等感染症対策事業で7,700万円、すみません、3ページの概要でいくと7,700万円、保育施設等感染症対策事業があるんですが、先ほどの説明の中で55ページ、予算書です今度は、55ページ、57ページで見ると、新型コロナウイルス感染症対策事業補助金というのが、55ページで3か所、それから57ページで1か所あって、それを足しても2,655万円にしかならなくて、そのほかにあと口頭

で消耗品費ということで30万円が55ページで4か所、それから、あと、ほかのところでも何か所か言われたと思うんですが、30万円のところが何か所あるんですか。それがあっても、とても7,700万円にはいかないと思うんですが、福祉部関係だけで保育所施設等感染症対策事業というのは合わせて幾らになっているんでしょうか。

○久保委員長 暫時休憩します。

午前11時09分 休憩

午前11時10分 開議

○久保委員長 休憩を閉じて、会議を再開いたします。

○松村健康福祉部次長 申し訳ありません。お答えいたします。

個々に消耗品とか細かいものがたくさんございますけれども、健康福祉部分の合計で見やすいのが、最後に御説明いたしました繰越明許費のところでご各費目ごとの総額を上げております。

110ページで見ていただきますと、民生費の中の子ども・子育て支援費の2,745万円。それから児童福祉施設費、こちらが公立の保育所、認定こども園並びに放課後児童クラブの関係ですけれども、これが1,510万円。そして112ページにお移りいただきまして、母子保健の関係の60万円、全て合計いたしまして4,150万円ということになります。残りは教育施設等もあろうかとございますので、その辺も合わせた合計が予算の概要のほうには計上していることになっております。

以上でございます。

○久保委員長 よろしいですか。

○田中（健）委員 それで、だから消耗品費だとかいうところであるんですが、そんな4,150万円までいかないような気がするんですが、あちらこちらにたくさんあるということですか。30万円あるのが6か所ぐらい言われて、そのほかに59ページぐらいのところでは1,200万円と160万円か、それとにかく4,150万円にはなるということですね、了解しました。

続けていいですか。

○久保委員長 どうぞ。

○田中（健）委員 予算書の63ページですが、一番下の段のところ新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業で、国返還金が1億1,545万3,000円というふうにあります。これは新型コロナウイルスの接種を受ける人がそれほど多くなくて、お金を返還したということになるわけですか、精算という形で。年度末のそういう形で。この返還

金はどのような趣旨なのか。

○松村健康福祉部次長 この返還金につきましては、令和3年度分の確定に伴う返還でございます。議員おっしゃられましたように、対象の方全てが受けられているわけではございませんので、その部分によるマイナスもでございます。併せて当初見積もっておいた準備費用等の差額とかもございますので、それらを合わせましてこの金額ということになっております。

○田中（健）委員 そうなりますと、そうですね、令和4年度だから、今4年度だから3年度の方確定してそれで返還するわけですが、3年度の実績でいくと、だからどれぐらいの率というのか、当初の予想と比べるとどれぐらいの率ということに結果としてはなったんでしょうか。

○松村健康福祉部次長 申し訳ございません。令和3年度末時点の接種率はちょっと準備しておりません。申し訳ございません。

○久保委員長 よろしいですか。ほかにございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○久保委員長 ないようですので、以上で質疑を終結いたします。

生活環境部、健康福祉部の皆様、お疲れさまでした。

ここで執行部入れ替えのため、暫時休憩いたします。

午前11時14分 休憩

午前11時16分 開議

○久保委員長 休憩を閉じて、会議を再開いたします。

続きまして、教育民生委員会所管のうち、教育委員会の事項について執行部の補足説明を求めます。

○石丸教育部次長 教育委員会でございます。教育委員会の所管分について御説明申し上げます。

この度の補正のうち、実績または決算見込みによる減額補正につきましては、説明を省略させていただき、主な増額補正について御説明いたします。

補正予算書の24、25ページをお願いいたします。

中段、教育費寄附金でございます。株式会社ハシモト様が山口銀行保証付寄付型私募債を発行された際に、華城小学校のICT教育環境の充実のために活用してほしいとの意向を示されたため、山口銀行から御寄附をいただいたものでございます。この御寄附に伴い、歳出として90、91ページの下段、小学校費、1目学校管理費、小学校運営事業におい

て、学校用品購入経費として同額の6万円を計上いたしております。

次に、補正予算書88、89ページをお願いいたします。

教育総務費の2目事務局費、スクールバス運行事業の20万円につきましては、児童の安全対策を強化するため、国の補正を活用し、小野小学校で利用されておりますスクールバスに、置き去り防止安全装置を取りつける経費でございます。来年度実施する予定でございますので、全額繰越明許費として計上しております。

次に、補正予算書90、91ページをお願いいたします。

下段の小学校費、1目学校管理費、小学校管理業務2、160万円並びに、次のページになります92、93ページをお願いします。下段の中学校費、1目学校管理費、中学校管理業務1、260万円につきましては、国の補正を活用して感染症対策のために、学校で必要な保健衛生用品などを購入する経費でございます。本事業につきましては、全額繰越明許費として計上しております。

90、91ページに戻っていただき、下段の1目学校管理費の小学校施設整備事業費4、719万7,000円並びに次のページ92、93ページ下段、中学校費、1目学校管理費の中学校施設整備事業3,061万7,000円につきましては、小・中学校の25年経過した空調設備を更新する経費、並びに華西中学校の屋外トイレの水洗化を行うものでございます。

次に、上段の小学校費、3目学校建設費の防災機能強化事業1億914万4,000円につきましては、富海小学校、牟礼小学校の屋内運動場の体育器具落下防止並びにLED化改修工事、また牟礼南小学校北校舎外壁改修を行うものでございます。下段の中学校費、3目学校建設費の長寿命化改良事業のうち、改良・改修工事費3億545万9,000円につきましては、国の補正を活用して事業を前倒しし、桑山中学校北校舎長寿命化改良工事を行うものでございます。

なお、本工事につきましては、継続費で実施しております。継続費につきましては6ページをお願いします。6ページの第2表を御覧ください。事業費及び年割額を補正するものでございます。

元に戻りまして、92、93ページをお願いいたします。

下段の防災機能強化事業3,180万6,000円につきましては、華西中学校校舎外壁改修などを行うものでございます。いずれの工事も国の補正予算を活用することとし、来年度実施する予定でございますので、全額繰越明許費として計上しております。

歳出につきましては、以上でございます。

歳入につきましては、歳出で御説明いたしました事業に対する国庫補助金や市債等を計

上しております。

最後に、繰越明許費でございます。補正予算書の116、117ページをお願いいたします。

教育費、スクールバス安全対策事業から120、121ページ、牟礼公民館建替事業までにつきましては、歳出で説明しましたとおり、国の補正予算に対応した事業のため繰越しをお願いするもの並びに事業関係者との調整に不測の日数を要したため繰越しをお願いするものでございます。

説明は以上でございます。よろしく御審議のほどお願いいたします。

○久保委員長 ただいまの補足説明に対する質疑を求めます。

○田中（健）委員 まず、概要の3ページで小・中学校防災機能強化事業で、1億4,800万円というふうにされておりますが、予算書のどの事業と、どの事業と、どの事業が該当するのか、ちょっと改めてお教え願えないでしょうか。

○松田教育総務課長 お答えいたします。

予算書といたしましては93ページになります。こちらの上段の防災機能強化事業（小学校）と書いてございます。こちらで、富海小学校、牟礼小学校の屋内運動場、それから牟礼南小学校の外壁改修、合わせて1億1,000万円弱の工事を計上しております。また、下段のほうになりますけれども、一番下のほうになります。防災機能強化事業（中学校）と書いてございます。こちらが、華西中学校の外壁改修で3,200万円弱の工事となっております。それぞれ合計して差額が出るというところなんですけれども、実際には今年度に予定しておりました事業の入札差金等との差額の計上になっておりますので、このような金額となっております。

○田中（健）委員 だから93ページの小学校費の一番最後の1億914万4,000円と、中学校の最後のあれにある3,180万6,000円足すと1億4,095万円という形で、概要に書いてある1億4,800万円と700万円ぐらい違うんですが、それはどういうことですか。概要のほうの数字が誤っているということですかね、予算書が正しければ。

○松田教育総務課長 すみません、お答えいたします。

700万程度の差額があるというところでございますけれども、こちらにつきましては、今年度の予算で当初から計上しておりました事業の入札差金の減額がございまして、それとの差額が700万程度ということになっております。

○田中（健）委員 ということになると、予算書で出てくる分はこうけれども、減額の差額があって、700万、それも使えるからということで、合わせて1億4,800万円

の事業をすると。事業をするけれども予算とすれば1億4,100万円ぐらしか使わないと、今回予算書には上げないと、そういうことですか。何か予算の概要の書き方がこれはちょっと予算書と合わないようなものを、数字が出るときには、そういうことを説明しないといけないと思うんですが、これは財政課のほうがこの概要をつくられるので、ちょっと教育委員会に物申してもいけないのかもしれませんが、ちょっとそういうふうなことが委員会の中で言われたということは、後で伝えていただければと思います。

それで、引き続いてよろしいですかね。

○久保委員長 どうぞ。

○田中（健）委員 保育所施設等感染症対策事業で、保育所等や学校が行う感染症防止対策のための衛生用品や備品等の導入支援ということで7,700万円、概要には掲載されております。先ほど、福祉関係がこれ幾らになるかというふうにお聞きしたら、4,150万円というふうに答えられました。残りは多分、教育委員会関係だと思うんですが、3,550万円ぐらいですね、これ予算書でいくと、どこにその金額が出てくるのか教えていただけますか。

○荒瀬学校教育課長 お答えいたします。

91ページに小学校対策費が、93ページに中学校の対策費が出ております。

○田中（健）委員 小学校の分は91ページの小学校管理業務の消耗品費と機械器具の2,160万円。それから中学校のほうは93ページの中学校費の一番最初の消耗品費と機械器具合わせて1,260万円。合わせて3,820万円ぐらいですが、そうするとちょっと7,700万円よりも多いんですけれども、逆に。一部これ以外のものもあるんですかね、なんかちょっと概要の書き方が不親切なのか知らないけれども、予算書と色々な数字がなかなか合わないんですけれども。

○高橋教育部長 教育委員会といたしましては、先ほど申しました2項目でございます。それで全体額、福祉と合わせたしたものについては、教育委員会では把握しておりませんので、教育委員会としては、先ほどの金額でございます。

以上でございます。

○久保委員長 よろしいですか。

○和田委員 簡単に2点ほど。補正予算書の89ページ。下段の茜島シーサイドスクール事業なんですが、渡船通学費補助金が減額になっておりますが、この理由を教えてください。

○荒瀬学校教育課長 当初計上しておりました人数よりも、少ない人数が通学していることでございます。

○和田委員 分かりました。その予定していたより少ないというのは、何か理由があるんですか。（発言する者あり）分かりました、付度します。

そのまま、次行っていいですか。もう1点だけ。

○久保委員長 どうぞ。

○和田委員 補正予算書の91ページなのですが、通学用かばん支給事業なのですが、結構減額があるのですが、もともと生徒数は決まっている中で支給されるもので、ちょっとこの理由を教えてください。

○高橋教育部長 御質問にお答えいたします。

予算で見込んでおりました金額より、業者からの提案金額が低かったということでございます。

○久保委員長 ほかにございませんか。

○曾我委員 すみません、1点ほどお聞きしたいんですが、補正予算で取ったときに、やっぱり有利な起債が当たるという解釈でよろしいんでしょうか。

○松田教育総務課長 お答えします。

国の補正予算に基づいて事業を前倒しする場合には、地方自治体のほうに一時的な負担が生じないように、全額を起債で充当することができますので、起債に関しては目いっぱいかけて、一般財源が発生しないような形での計上とさせていただいております。

○曾我委員 ありがとうございます。

○久保委員長 よろしいですか。ほかにございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○久保委員長 ないようですので、以上で質疑を終結いたします。

教育委員会の皆様、お疲れさまでした。

ここで執行部入れ替えのため、暫時休憩いたします。

午前11時34分 休憩

午前11時35分 開議

○久保委員長 休憩を閉じて、会議を再開いたします。

続きまして、産業建設委員会所管のうち、産業振興部及び土木都市建設部の事項について執行部の補足説明を求めます。

○國澤産業振興部次長 産業振興部でございます。産業振興部所管分について主なものを御説明いたします。

今回の補正につきましては、そのほとんどが実績または決算見込みに基づく補正でござ

います。

補正予算書の7ページをお願いいたします。最初に繰越明許費の補正でございます。

9段目、水路等維持補修事業から8ページ2段目の漁港機能保全事業までの10件について、翌年度へ予算を繰り越すものでございます。繰越理由など詳細につきましては、112ページから115ページまでの繰越明許費調書にお示しをしております。

続きまして、歳出でございます。

補正予算書68ページ、69ページをお願いいたします。

2目農業総務費の新規就農者支援事業につきましては、補助金の交付条件を満たさなくなったため、補助金の一部を県に返還する必要性が生じたことから、県返還金を計上いたしております。

5目農地費の多目的機能支払交付金交付事業につきましては、農地の転用等により本交付金の対象から外れた農地について、交付金の一部を県に返還するものです。その下の樋門・排水機場管理事業につきましては、岸津樋門補修工事について岸津樋門補修設計業務委託の結果に伴い、工法変更が必要となったため増額補正を計上しております。

なお、この予算は関係機関との調整に日数を要したため、翌年度へ繰り越すこととしております。

次に、70ページ、71ページをお願いいたします。

上段の県営土地改良事業につきましては、県の事業費確定に伴い増額補正を計上しております。

次に、中段の2目林業振興費の林業振興整備事業でございますが、議案第23号で防府市基金の設置、管理及び処分に関する条例中改正について上程しておりますとおり、防府市森林環境整備基金について、防府市緑地管理基金と一元化し、防府市グリーン推進基金を設置することに伴いまして増額補正を計上するものでございます。

3月補正概要7ページを御覧ください。

中段以下に参考として、主な基金の状況をお示ししておりますが、表の下から4番目、廃止となります緑地管理基金の1億2,866万6,000円を繰入れ、これに一般財源1億円を加えて2億2,866万6,000円を一段下に記載しておりますグリーン推進基金に積みますものでございます。

次に、補正予算書に戻っていただき、74ページ、75ページをお願いいたします。

上段の2目商工振興費の企業誘致推進事業でございます。市内での事業用地の取得を奨励するための用地取得奨励金につきましては、令和5年3月に交付条件を満たす企業があることから、予算の計上をいたしております。

なお、令和2年4月1日施行の条例改正により、用地取得奨励金は廃止しており、本件が最後の適用となります。

最後に、歳入の補正でございます。

24ページ、25ページを御覧ください。

下段の9目録地管理基金繰入金でございますが、最初の説明で申し上げましたように、防府市グリーン推進基金に積み立てるものでございます。

産業振興部は以上でございます。よろしく御審議のほどお願いいたします。

○宮本土木都市建設部次長 土木都市建設部でございます。一般会計補正予算のうち、土木都市建設部の所管について御説明申し上げます。

この度の補正のうち、実績または決算見込みによる減額補正等につきましては、説明を省略させていただきまして、主な増額補正について御説明いたします。

それでは、令和4年度3月補正予算案の概要に沿って御説明いたします。

概要の3ページをお願いいたします。

ページ中ほどの市道整備事業でございますが、市道の舗装工事について計画的な予防修繕を行うため国の補正予算を活用いたしまして8,000万円を増額するものでございます。

続きまして、概要7ページの継続費についてです。すみません、補正予算書のほう、106、107ページのほうをお願いいたします。

防府第二テクノタウン隣接道路、四ノ楯三ノ楯線外1路線道路改良事業につきまして、工事施工後に判明いたしました、地中の障害物に対して設計変更の必要があるため増額をお願いするものでございます。

次に、繰越明許費についてですが、補正予算書114ページから117ページも併せてお願いいたします。

2目道路維持費、市道長寿命化事業国補正予算分につきましては、国の補正予算により事業を実施してまいりますので翌年度へ繰越しをお願いするもので、そのほかの事業につきましては、関係事業者等の調整に不測の日数を要したことから翌年度へ繰越しをお願いするものでございます。

最後に、債務負担行為の追加ですが、補正予算書の122、123ページをお願いいたします。

三田尻中関港、港湾整備事業負担金といたしまして、県の平成27年度事業の借換えに伴う補正と、令和3年度事業の完了に伴い新たに債務負担行為を設定するものでございます。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○久保委員長 ただいまの説明に対する質疑を求めます。

○石田委員 69ページの新規就農者支援事業で、要件の一部を満たさなくなったため返還とありましたが、もうちょっと詳しく教えていただけたらと思います。

○岡田産業振興部参事 69ページの上段、県返還金37万5,000円については、農業次世代人材投資事業について、この度は交付要件の条件を満たさなかったことから、過年度分の交付金の返還を求めるものでございます。下段の多面の返還金につきましては、令和3年度中に対象外となった農地分について、交付金を県に返還する必要が生じたことから県の返還金を計上しております。

以上でございます。

○石田委員 ありがとうございます。新規就農のほうなんですけど、やられていた方が途中で要件が変わったからということですか。

○白井産業振興部長 すみません、新規就農はされているんですが、届出書類を出されなかった部分で、これは返還のほうを選ばれたということでございます。

○石田委員 分かりました。

○久保委員長 よろしいですか。ほかにございませんか。

○山田委員 1点だけ、77ページになるんですが、がけ地近接等危険住宅移転事業、県に補助金として該当がなかったのかあったのか教えてください。これが例えば令和4年度4月からの災害リスクの高い地域において開発行為等の許可基準が変わりましたが、これに伴うものなのか教えていただければと思います。

○鴻野開発建築指導課長 お答えいたします。

この補助事業につきましては、県に関する事業でございます。今第2点のことにつきましては、議員のおっしゃるように、質問に該当するものでございます。

以上でございます。

○山田委員 ありがとうございます。要望だけさせてください。これイエローゾーンのところの方は、多分この災害リスクの高い地域においての開発行為等の許可基準が変わったことなんか、多分分からないと思うんですよ。広報には出されとると思います。ただその地域において、やはりこういうことはしっかりとお伝えすべきだと思います。今ここで新しく家を建てられる方も含めて本当に困っていらっしゃると思います。こういうことは、やはりそういうイエローゾーンにかかったところは、市の裁量の中で心配りをよろしくお願ひしたいと思ひますんで要望させていただきます。よろしくお願ひいたします。

○久保委員長 要望でよろしいですね。ほかにございませんか。

○田中（健）委員 概要の3ページに、先ほど説明がありました市道整備事業で8,000万円という形で、こういったものに事業をつけていただいて結構なことだと思いますが、それで予算書を見ますと、予算書は76ページ、77ページの土木費の真ん中といますか、そこに8,000万円というのが出ていて、国補正分という形で書いてあって、国庫支出金が4,000万円、地方債が4,000万円という形で、国がそういったものに支出をしていただいているんだなと思ったんですが、それで歳入のところを見ると16ページ、17ページの辺りだと思うんですが、そこに4,000万円という金額が出てこんのですね、どういう形でこの4,000万円というのが、どこにあるのか歳入で教えていただけますか。

○久保委員長 暫時休憩します。

午前11時49分 休憩

午前11時52分 開議

○久保委員長 休憩を閉じて、会議を再開いたします。

○澁谷道路課長 大変失礼いたしました。予算書の17ページ、下段3段目の道路橋りょう費補助金ですね、この中に全体で含まれておりますので、内訳までは出ておりません。

○田中（健）委員 道路橋りょう費の分は、社会資本整備総合交付金が減額で4,272万円あるけれども、本来だったら8,272万円減額をして4,000万円もらうような形で、その差引きがマイナスの4,272万円という形で出ると、こういう理解でいいわけですかね。分かりました。

○澁谷道路課長 そのとおりでございます。

○久保委員長 そのとおりでよろしいですね。ほかにございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○久保委員長 ないようですので、以上で質疑を終結いたします。

産業振興部、土木都市建設部の皆様、お疲れさまでした。

ここで執行部入れ替えのため、暫時休憩いたします。

午前11時54分 休憩

午前11時55分 開議

○久保委員長 休憩を閉じて、会議を再開いたします。

続きまして、産業建設委員会所管のうち、上下水道局の事項について、執行部の補足説明を求めます。

○野村上下水道局次長 上下水道局でございます。議案第1号令和4年度防府市一般会計補正予算（第7号）のうち、上下水道局所管分につきまして、補足説明をさせていただきます。

今回の補正につきましては、歳入、歳出とも決算見込みにより補正するものでございます。

補正予算書の62ページ、63ページをお願いいたします。

63ページの説明の欄の上から3行目の水道事業会計操出金につきまして、91万6,000円を減額するものでございます。費目は前のページに掲載しておりますが、1目保健衛生総務費、27節操出金でございます。

次に、84ページ、85ページをお願いいたします。

上の表の一番下の3目公共下水道費、27節操出金でございますが、公共下水道事業会計操出金につきまして、雨水処理費に要する負担金や分流式下水道等に要する経費の減などにより、2,826万5,000円の減額補正をするものでございます。

最後に、繰越明許費について御説明いたします。110ページ、111ページをお願いいたします。

表の一番下の4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費の上水道安全対策事業につきまして、事業関係者との調整に日数を要したことから、財源となります上水道安全対策事業出資金のうち、2,393万5,000円の翌年度繰越しをお願いするものでございます。

以上で上下水道局所管分の補足説明を終わります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○久保委員長 ただいまの補足説明に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○久保委員長 ないようですので、以上で質疑を終結いたします。

上下水道局の皆様、お疲れさまでした。

ここで執行部退席のため、暫時休憩をいたします。

午前11時58分 休憩

午前11時58分 開議

○久保委員長 休憩を閉じて、会議を再開いたします。

これより議員間討議を行います。どなたかございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○久保委員長 ないようですので、議員間討議を終結いたします。

ここで執行部入場のため、暫時休憩をいたします。

午前 11 時 58 分 休憩

午前 11 時 59 分 開議

○久保委員長 休憩を閉じて、会議を再開いたします。

これより討論を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○久保委員長 討論を終結して、お諮りいたします。本案については、原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○久保委員長 御異議ないものと認めます。よって、議案第 1 号については、全員一致で原案のとおり承認されました。

以上をもちまして、当委員会に付託されました案件についての審査を終了いたします。

これをもって、予算委員会を閉会いたします。大変お疲れさまでした。

午後 0 時 閉会

防府市議会委員会条例第 30 条第 1 項の規定により署名する。

令和 5 年 2 月 22 日

防府市議会予算委員会委員長 久 保 潤 爾